

二〇三三年八月二日

爺の背な水鉄砲に滅多打ち
藍染の卓布に変へて涼新た
民宿の客も総出で鰯引く
幼な子も花桶運ぶ墓参かな
初めてのお泊りできし夏休み

二〇三三年八月一日

帆のごとく翹立て運ぶ蟻の列
笹の豆涼しまろべば波の音
ご遺影に語りかけもし盆用意
ななかまど色づく蝦夷の大路かな

二〇三三年八月九日

かき氷食ぶ友の愚痴聞きながら
掌の返へれば進む踊の輪
暑に耐ふる介護ノートの日数かな
お泊りの孫と一緒に盆用意
清らかな子らの宣誓原爆忌

二〇三三年八月八日

水足らぬ面して畑の夏野菜
玉蜀黍畑を抜けてチャペルへと
全容に蔦を鑑ひし供養塔
サンダルをはみ出す指に絆創膏

二〇三三年八月七日

気功の手翳す秋天支ふごと
立ち食いの頬にケチャップ夏祭

二〇三三年八月六日

潮吹きのごと尾根影に遠花火
銀輪の夫の荷台に大西瓜

二〇三三年八月五日

祭の夜むかしの声のままに知己
ペンギンの頭上を泳ぐ館涼し

毎日句会みゆる選・二〇三三年八月一三日

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|-----|------|-----|----|-----|-----|
| なつき | 澄子 | みきお | みきえ | なつき | みきお | 小袖 | ぼんこ | むべ | もとこ | 素秀 | たか子 | なつき | こすもす | 明日香 | むべ | ぼんこ | もとこ |
|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|-----|------|-----|----|-----|-----|

小袖
豊実

はく子
あひる

素秀
はく子